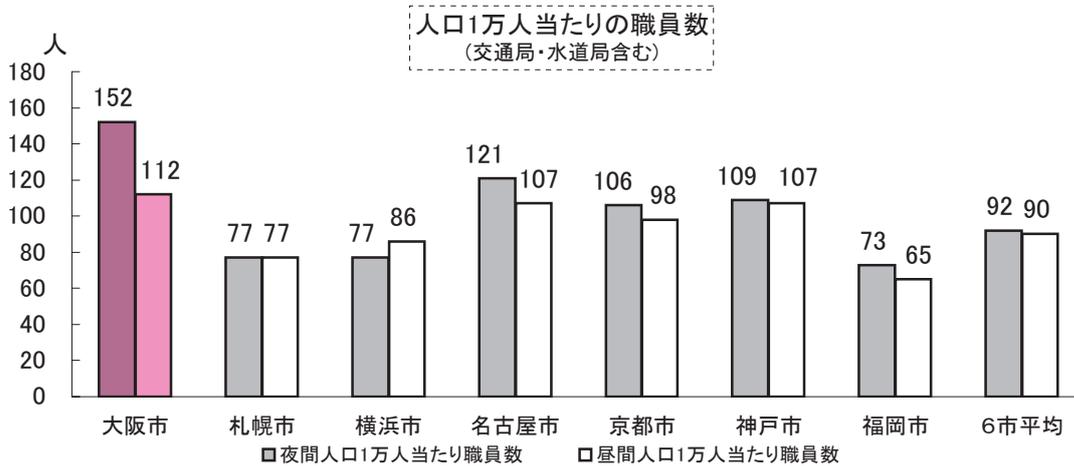


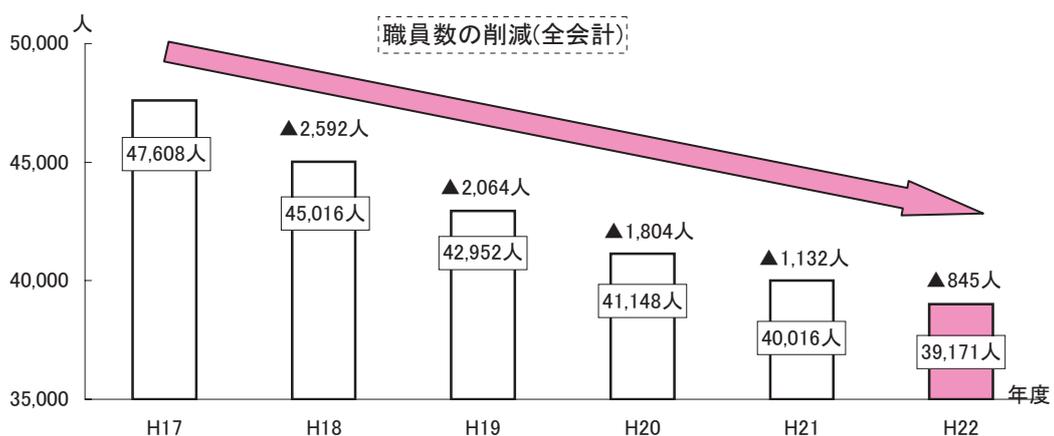
②職員数の削減

- 大阪市の人口1万人当たりの職員数は、他の指定都市と比較すると最も高くなっています。
- これは、地下鉄等の都市交通網や市立幼稚園・高等学校等の教育施設が充実していることなどもあり、直接的に行政サービスを行う職員や教職員等が多いことによるものです。



(資料)職員数は総務省地方公共団体定員管理調査(平成21年4月1日)、人口割の人口は平成17年国勢調査

- 『市政改革基本方針』において、5年間で5,000人超の職員数の削減、市立大学等の独立行政法人化による2,000人程度の削減により、総職員数3万人台とすることを目標に取組んできました。
- 取組みの結果、平成18年度から22年度(予算)の削減数は8,437人となり、22年度の職員数は削減目標どおり3万人台となりました。



職員数の削減(交通局・水道局含む)

	H17.10月	H18.10月	H19.10月	H20.10月	H21.4月	H22.4月 (見込)	5か年累計 (H18~22)
削減数	—	▲2,592人	▲2,064人	▲1,804人	▲1,132人	▲845人	(達成率約111%) ▲8,437人
職員数	47,608人	45,016人	42,952人	41,148人	40,016人	39,171人	